

ひかり HIKARI

たいむず TIMES

発行責任者：光の丘 笠井真人

編集：光の丘 新聞係

発行日：平成29年3月20日

～「安心できる施設・安全な施設」であるために～

平成28年度も残り僅か、心が躍る桜の季節がまたやってきました。光の丘・ホーム丘における「安心と安全」を考え、一年を振り返ってみました。

平成28年4月1日 「障害者差別解消法」施行

私たち職員の仕事は、利用者の方々が何らかの支援を必要としている時、人格と個性を尊重し、合理的配慮の下、日常生活の中にある様々なバリアを取り除く事です。それは障害者差別解消法に通じるものであり、私たちは、社会の「障害を理由とする差別の解消」を更に推進します。

4月14日 熊本地震（死者50人を出した、大規模災害）

平成26年2月に光の丘新棟が完成して、早3年が経過しました。堅牢な建物と備蓄食料や災害備品、準備もあり大規模災害時の甚大な被害は免れると思いますが、ライフラインなどの都市機能がマヒした場合は施設機能も一部マヒしてしまいます。それによる非日常生活はストレスや持病の悪化などを誘発する可能性もあり、心身の健康管理は大きな課題となります。

7月26日 相模原障害者施設殺傷事件（津久井やまゆり園）

この事件を契機に私たち職員が改めて考えることは、共生社会です。施設とそこで暮らしている方々が地域住民の方々をはじめ数多くの方々にとって身近な存在であり、あたりまえの存在でなければなりません。「開かれた施設」を目指します。

8月30日 岩手・岩泉町の高齢者グループホームで死者9人を出した浸水被害

施設を運営する法人の常務理事は「避難準備情報が発表された段階で要介護者は避難させなければならぬとの認識はなく、（中略）認識が甘かった。（中略）大丈夫だろうと過信した」と述べています。命を預かる私たち職員は責務の重さを忘れてはなりません。

12月22日 系魚川市大規模火災（30時間続き、約1万坪の建物が焼損）

グループホームを含む全建物は防火・防災構造で自動火災通報装置とスプリンクラー（2棟は設置予定）を設置しています。発災の際、これらの一次的な対応の後、私たち職員は利用者の方々の安全を確保し避難させなければなりません。命を守る最後の砦であることを忘れてはいけません。

永遠の思い出～どうぞ安らかに眠りください

猪野瀬 博邦さん(享年67歳)・稲垣 美紗さん(享年33歳)・北原 徹さん(享年57歳)



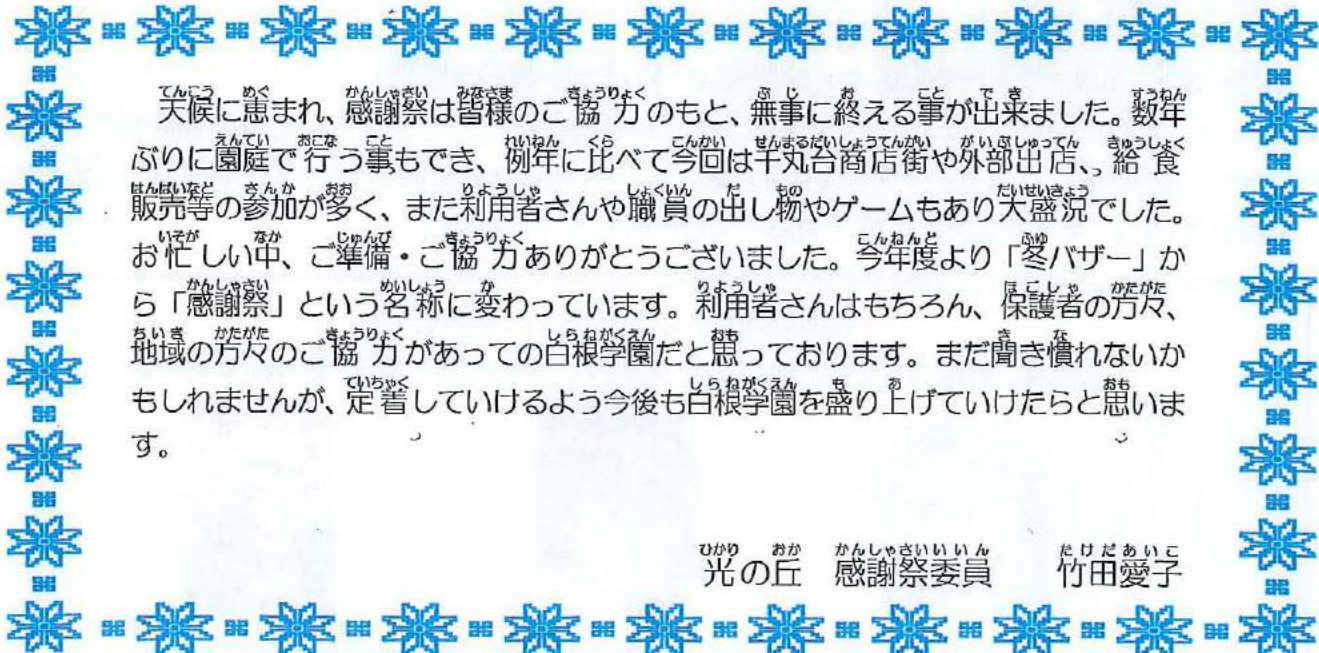
それぞれの方々の笑顔と共に過ごした日々。それは、私たちの心に永遠に刻み込まれています。

ここに改めて、ご冥福をお祈りするとともに、哀悼の意を表します。



かんしゃさい がつ か
感謝祭 (12月3日)




 天候に恵まれ、感謝祭は皆様のご協力のもと、無事に終える事が出来ました。数年ぶりに園庭で行う事もでき、例年に比べて今回は千丸台商店街や外部出店、給食販売等の参加が多く、また利用者さんや職員の出し物やゲームもあり大盛況でした。お忙しい中、ご準備・ご協力ありがとうございました。今年度より「冬バザー」から「感謝祭」という名称に変わっています。利用者さんはもちろん、保護者の方々、地域の方々のご協力があったの白根学園だと思っております。まだ聞き慣れないかもしれませんが、定着していけるよう今後も白根学園を盛り上げていけたらと思えます。

ひかり おが かんしゃさいいん たけだあいこ
 光の丘 感謝祭委員 竹田愛子

がつ にち
12月22日

ぼうねんかい
クリスマス★忘年会



ねん 年に1度のクリスマス忘年会!! みんなで楽しく過ごしました★

りょうり 料理もとっても美味しかったですね!



かい
グループホーム★クリスマス会



グループホームでも、クリスマス会をやりました★

みんなでワイワイ! とっても楽しい時間でした!!



だいかんさい
～大寒祭～

1月26日に大寒祭がおこなわれました。

皆さんのついたお餅は、美味しいお汁粉になりました。



せつぶん
～節分～

節分では、登場した鬼に向かって「鬼は外！福は内！」と元気

に豆を投げ、今年の福を呼び込みました。



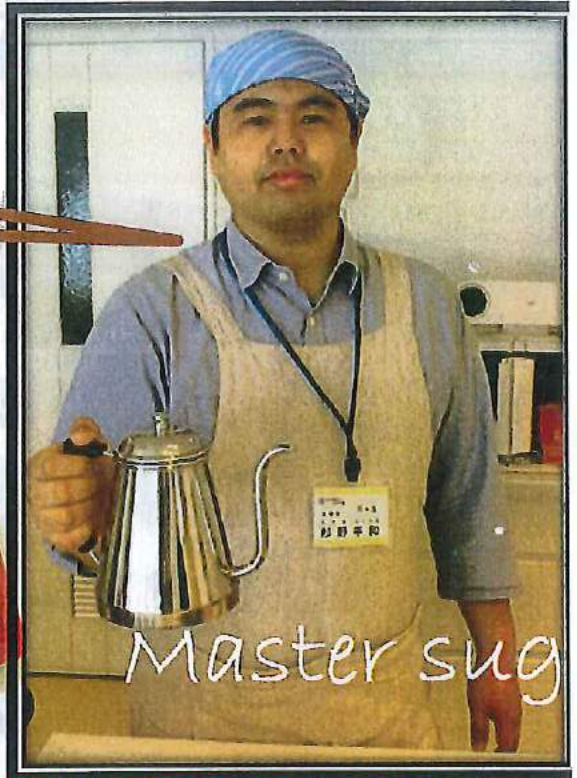
はりくよう
～針供養～



まつ
～ひな祭り～



★ カフェ ルーチェ
CAFÉ LUCE
より ★



みなさま げんき たんとう おぎの
皆様、お元気ですか？ルーチェ担当の杉野です。

わん がつ よこはましあさひく しゃかいふくしほうじん じぎょうしょ ちかう あ も あ
2016年12月に横浜市旭区にある社会福祉法人の12事業所が「力を合わせて盛り上げて
いこう！」という気持ちで活動を開始し、そこで出来たのがくらむぼんちゃんが表紙の
い きも かつどう かいし でき ひょうし
「旭区スイーツマップ」です。内容はスタンプラリー形式となっており、各店舗ごとに
あさひく ないよう けいしき かくてんぼ
1回限りの特典があります。ルーチェでは、「コーヒー・紅茶・ココア」が通常価格
かいかぎ とくてん ころちや つうじょうかかく
より 50円引きの特典となります。
えんぴ とくてん

また、「キャラメル・マキアート」¥220「シナモン・ラテ」¥200が新たにルーチェメ
あら
ニューに加わりましたので、光の丘へお立ち寄りの際はご来店をお待ちしております。
くわ ひかり おか たよ さい らいてん ま



キャラメル・マキアート



シナモン・ラテ

頑張れ職員コーナー

☆今年度も利用者さんのため、色々な研修や集まりに参加しました。



その一部を紹介させていただきます。

◎1月30日・1月31日に、「平成28年度第5回 障害者支援施設部会全国大会」の神奈川大会に参加しました。

至2日間の日程で、1日目は「熊本震災報告」「横浜から未来につなぐ」「新しい福祉らしさの発見とチャレンジ」が話題の講演、鼎談が行われました。2日目は分科会にて「利用者の地域での暮らしの支援について考える」に対しての各施設の事例発表がされました。こういった研修では、知らないことや他がやっていることを“知る”という側面においては大変役立ちますし、自身の成長にも繋がるかと思えます。それと同時に、出会いを通して人材のネットワークを作る場であると認識しております。残念ながら今回はそのような場面は訪れなかったのですが、外部の知見を得る為、自己実現を自指す人達が取り組んでいることであります。

“オープンイノベーション”という言葉があります。これは会社内部と外部のアイデアを組み合わせて新しい価値を作るというものです。この価値を作るというものは、福祉の世界においては非常に重要なことで、車椅子ひとつとっても時代と共にバリアフリー化や専用スペースの確保など環境面の改善により人々の意識までも変えた、これこそが価値を作るということだと思えます。入所も更生施設の時代から形を変え、考えを変え、現在に至っております。未だ地域からは施設扱いされることもありますが、そこに住む人々と地域の人々の生活尺度が等しくなるよう価値を作っていかなければなりません。

ひかり おか かかりちょう こばやししんたろう
光の丘 係長 小林慎太郎

1日目は、熊本地震時の熊本地域知的障害者施設協会・城南学園・第二明星学園、それぞれの視点に立った災害時の被害や支援状況等についての話があり、避難訓練の重要性・職員間の意思疎通の大切さ、代用品やその場にある資源を活用し、どのようにして支援するかを事前に考えていく必要があると感じました。2日目は、「利用者の方の地域での暮らしの支援について考える」をテーマに事例発表が行われた。高齢者・地域住民・障害者等の様々な方が関わる事で障害への理解が深まり、利用者の方が地域で生活する上で連携を取る事で、一人ひとりに応じた福祉サービスの提供、繋がりへと繋がっていると思いました。両日ともに他の都道府県の施設職員の方と関わる事ができ、各施設ならではの支援方法等を知る事で、様々なことを考えるきっかけとなりました。今回の研修で得たことを実際の支援や業務に活かせるよう努力していきたいと思えます。

ひかり おか しえんいん なかにしのぞみ
光の丘 支援員 中西望

今回の研修で印象に残っているのが、グループホームで生活しているお寿司の好きな利用者さんが、お寿司を食べたい時に自分でお寿司屋さんに行けるように支援しているという話です。拘りが強くお寿司を食べる種類も順番も決まっていて、その通りに出来ないとなると不穏になってしまうという方ですが、板前さんに本人の特性を伝えた上で、もしもその人の好きなネタが切れてしまっていたら時間を稼いで職員へ連絡する等の連携プレーが行われているそうです。板前さんがそこまで協力してくれるのも、地域の方と良い関係が築けているからこそ、快く引き受けてくれているのだと感じました。今まで支援を考える中で、簡単に「これは難しいだろうな」と考えてしまっていた事も、「どうしたらこの人のやりたい事を叶えてあげられるかな」と考えていくことが大切なんだと改めて感じました。

今回の研修に参加して、自分の普段の支援や利用者さんとの向き合い方を振り返る良い機会となりました。研修を通して学んだ事、感じたことを今後の支援に役立てていきたいと思えます。

ひかり おか しえんいん きくちまこと
光の丘 支援員 菊地真央

にっちゅう にゅうしょ どうだんぎょうむしやうかい 日中・入所・相談業務紹介

箱 籠 室

H28年度4月より始まった光の丘相談室は、担当する西部ブロック(旭区、保土ヶ谷区、瀬谷区、泉区)の各区基幹相談支援センター、区福祉保健センターとの連携、その他、当事者や当事者家族、指定特定事業所(計画相談事業所)からの相談を受けたりしています。各区相談支援センターの連携業務では、地域福祉のネットワーク拠点である西部ブロックの各区自立支援協議会へ参加して、課題の把握や各部会、おにも毎月行われる相談部会に参加して地域特性やどのような課題が確認できるのか把握をしなければいけません。その他、昨年の後期から始まった、光の丘が持つ短期入所事業を連動させた取り組みであるミドルステイモデル事業の実施があります。継続した地域生活を見込める方の中で、在宅で生活を送っている方を1ヶ月から6ヶ月の期間で短期入所生活を送ってもらい、その中で継続した地域生活を送れる様に本人への生活改善や、家族や関係機関への環境調整等を目的とした事業を行っています。

来年度へ向けては、相談室の職員数がさらに拡充され、心理部門が新設される予定です。心理部門は、個別カンファレンスでの支援プログラムの組み立てや、ミドルステイモデル事業での本人、家族へのアセスメントを、予定しています。相談室としても、引き続き関係各所への顔の見える関係づくりを継続していくことや、今年度行えなかった地域の支援者へ向けての学習会や研修会の実施を行っていく予定です。

相談室 綾部 忠遵

入 所

一年は本当に早いですね。私たち入所を担当している職員としては、利用されている皆さんがここ「光の丘」で楽しく穏やかな時間を過ごせるように色々頑張ったつもり的一年でしたがいかがでしたでしょうか？建物が新しくなって早くも3年が経ちましたが、「理想の生活の場所を提供することが出来たか？」と考えると、まだまだ工夫をしたり改善をしたりと…利用されている皆さんのためにやるべきことは多いなあ、と感じています。そんな状況の中でも光の丘で過ごされている皆さんや、保護者の皆様が「光の丘で良かった^^」と少しでも感じて頂けていたらうれしいなと思っています。利用される皆さんが、毎日さわやかに目が覚めて、元気に日中を過ごし、おいしいご飯を食べて、衛生的で気持ちの良い生活を送ること。そんな当たり前の肩肘張らない生活を利用されている誰もが送ることが出来るような環境を、これからも職員一同力をあわせて作り上げて行きたいと思っていますのでよろしく願います。

入所 橋本 行史

目 撃

一年を振り返ってみますと、工房で活動を通じて多くの人との出会いがあり、活動の取り組みにて利用者さんの多くの笑顔に助けられた一年でした。

そこでの気づきや学びは私にとって大きな財産となりました。また、工房での活動は夏にはじゃがいもの収穫、秋には地域の保育園の子どもたちを招待しての「いも掘り」も行ったりしました。地域活動への積極的な参加により、利用者さんに関心をもつこと、利用者さんの気持ちに気づいてあげることが大切だと感じました。

来年度は、チャレンジ精神を常に持ちながら、「今年こそは！」決めたことをより多く実現できる一年にしたいです。

今年度一年乗り越えられたのは、保護者さん利用者さんはじめ職員のサポート多大なご支援、ご協力のお蔭だと心から感謝しております。来年度も一丸となって日中活動の発展を目指していければと思っております。

生活介護 久保知誠

しんしよくたくしよくいん
新嘱託職員

ふじの
藤野せつ子



また白根学園で用務として働かせて頂く事になりました。利用者さんが快適で、また綺麗な環境で生活できる様、精一杯働かせて頂きます。どうかよろしくお願い致します。

かねまるさちこ
金丸祥子

医務室で働かせていただいています。金丸と申します。土日の休日は子どもたちとボーイスカウトに参加しています。どうぞよろしくお願ひ致します。



きゆうしよくしよくいん
休職職員



かねさかなおえ
金坂直永



よこみぞまゆみ
横溝真弓

入所主任兼短期入所担当だった金坂直永職員
日中生活介護担当だった横溝真弓職員が、
産休の為、休職されました。



たいしょくしょくいん
退職職員

かねこ みな
金子 美奈さん

しらねがくえん たくきん かた ひひ せいけつ とおして かわる ちか
白根学園で沢山の方と日々の生活を通して関わる中で
多くを学ばせていただきました。

りようしゃの ぜいさん、 ぼごしゃの ぜいさま たいへん おせわ になりま
した。

これから元気で健やかに過ごされることを願っています。

短い間でしたが、ありがとうございました。



たけむら さき
竹村 沙希さん

2年間という短い間でしたが、ありがとうございました。

しらねがくえん で 学んだことを次の職場で活かしていきます。

りようしゃの ぜい様、 ぼごしゃ様、 たいへん おせわ になりました。



こんごの よてい
今後の予定

4月3日…………… しょうねんとし じむさく ため 休み (しょうねん じゆん び ため)
4月28日…………… ぼごしゃかい

へんしゅう じゆき
編集後記

暦の上では春とはいえ、朝夕はまだまだ冷え込みが続き、桜の開花が待ち遠しい季節となりました。
皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度最後の丘新聞となり、28年度もあっという間に過ぎていきました。

至らぬ点もあったとは思いますが、利用者・保護者の皆様により充実した生活を送っていただけ
よう、来年度も安全・安心を第一に考え、より良い支援をしていけるようにと願っております。

どうぞ来年度もよろしくお願い致します。(鈴木)

へんしゅう じゆい : 田口雅史/白川篤太/久保田大貴/鈴木淳/横溝真弓/坂井睦美/八須未来